

平成24年度 韓国・釜山大学校サマープログラム 帰国報告書

北海道教育大学旭川校 2年 菅原 早耶

1、はじめに

8月3日から8月25日までの3週間、PNU Summer School 2012に参加してきました。今回のプログラムの参加者は、日本から14人（うち2人は、中国人留学生とペルー留学生）、中国6人、トルコ1人、ロシア1人と、釜山大学から10人というメンバーでした。私たちは、韓国語・文化を授業やフィールドトリップで学んできました。

プログラムに参加する前は、韓国語の勉強をしたり、パスポートや航空機の手配、保険に入ったりなどをやりました。

2、授業

クラスは上級者クラスと初級者クラスに分けられました。上級者は韓国語がペラペラの領域までいっている人がいて、初級者はプログラムに参加して初めて韓国語を学ぶような人もいました。私は初級者クラスでした。授業はすべて英語で行われます。日本語でいう、五十音からやりました。私は大学でハングルをと取っていたので大丈夫でしたが、いきなり韓国に行ってから始めるのはあまりおすすめできません。授業自体は、先生が細かく説明してくれます。覚える量はわりと多いです。基礎から始めて、簡単な会話くらいまでは勉強できました。上級者クラスは、初めから会話中心の授業で、電話で出前の練習を実際にしたりしていたようです。



3、文化の授業

初めに韓国の歴史について、ビデオや外部の先生などから話を聞いて、学びました。1回目は主にハングルの成り立ちについて勉強しました。また、韓国のお正月について実際に日本でいうお年玉のようなものをもらう体験をしたり、南北問題などみんなでディスカッションをしたり、日本ではなかなか味わうことのできない新鮮な体験ができました。また、韓国伝統の灯籠のようなものを作る体験をし、伝統的なビビンパを作って食べて、みんなとの親睦を深めることもできました。



4、フィールドトリップ

これは、1・2週目の金曜日全部を使って、行われました。島に行ってお寺みて、うちわを作りました。また、壁に絵が描いてある街並みがあるところにもいきました。1日中、日本人以外の友人とも話すので、韓国語や英語の勉強にもなりました。



5、寮

寮は例年とは場所が変更して、勉強するところのすぐ近くでした。朝もゆっくりできて、すぐ帰ることもできて、とても快適でした。日本でいうビジネスホテルと考えてもらって大丈夫です。シャワーも毎日使えるし、机もあって勉強しやすい環境でした。

6、自由時間

意外と多い時間、自由時間があったので、私はとことん釜山を観光してきました。地下鉄に乗れば交通も便利なので、遠出もできます。アミドンというところに行って、日本とアメリカとの関係の郷土館に行ったり、山に登ってお寺に行ったり、海に行ったり、買い物に行ったり遊園地に行ったりと、たくさん色々なところに行きました。ガイド本など持って行ったら、より楽しめて、充実した時間を過ごせると思います。

7、最後に

大学生の夏休みは長いです。1年生の時にそう思って、2年生でこのプログラムに参加しました。教育大は忙しいので、1・2年生のうちしか海外に行ったり、日本の中でも遠いところに行ったりできないと思います。韓国語も英語も私はあんまり話せませんでした

が、日本の他の大学の子たちと熱い話をしたり、違う国の人と接して話すことで、行く前よりも自分の視野がとても広がりました。また、日本以外の国の人たちはみんな第2言語である英語がペラペラだったり、カルチャーショックを受けました。とてもいい刺激を受けられたと思っています。自分が考えていたよりもあまりお金もかからなかったので、自分でバイトなどをして、お金はためられます。韓国に興味がある人はもちろん、留学自体に興味がある人はぜひ、来年行ってみてください。必ず人間的に成長できます。

今回のプログラムで、お世話になった方々、本当にありがとうございました。